

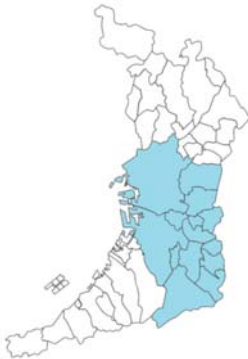
クビアカツヤカミキリに注意！

1 発生状況

平成24年に国内で初めて発見され、11都府県に発生地域が拡大している。大阪府では、平成27年に初めて確認され、令和2年12月現在、14市町村に発生地域が拡大している。平成30年1月には飼育・移動などを禁止する特定外来生物に指定された。

2 生態

- (1) さくら、もも、うめ、すももなどバラ科樹木を加害する。中国や朝鮮半島などに生息している。
- (2) 成虫の体長は約2～4cm。前胸は赤色で全体は光沢のある黒色。ジャコウのような臭いを放つ。



▲府内の発生状況
(令和2年12月現在)



▲成虫



▲うどん状のフラス

3 被害状況

- (1) 幼虫は3月下旬～10月頃に中華麺～うどん状のフラス（木くず等の混合物）を排出する。
- (2) 幼虫に食入された樹は樹勢が低下し、果実が肥大しない。放置すると枯死に至る。

4 防除対策

- (1) 成虫（6～8月に発生）は見つけ次第、固い地面で踏みつけるなどして捕殺する。
- (2) 成虫発生期に、登録農薬を樹体に噴霧器等で散布し殺虫する。
- (3) フラスを見つけたら、千枚通しや針金等を穴に入れ、中のフラスをかき出し、エアゾール剤を注入する。
- (4) フラスが出ている樹は、4mm目合いのネットを巻き付けるなどして、成虫の拡散を防ぐ。ネットは、高さ2m程度まで、口はしっかり、幹はゆったりと2重に巻く。
- (5) 定期的にネット内を確認し、成虫を見つけ次第、ハンマーなどで撲殺する。
- (6) 被害の大きい枝や樹は、早期に伐採し、チップ化する。可能な場合は市町村の規定に従い焼却する。
- (7) 切り株も、ネットやビニルシート等で覆う。



▲ネット被覆（もも）

◆主な登録農薬については次頁以降の表1～3をご参照ください。

◆防除対策の詳細は、農業技術資料「クビアカツヤカミキリの生態と防除対策」をご参照ください。
http://www.jppn.ne.jp/osaka/color/Aromia_bungii/Aromia_bungii_manual_R3.3.pdf

表1 クビアカツヤカミキリに登録のある主な農薬（果樹類、もも）

（令和3年1月現在）

作物名	農薬名 (成分名)	IRAC コード	適用害虫	希釈倍数	使用方法	使用時期	使用 回数
果樹類 ※	ロビンフッド、 ベニカカミキリシエアソール (フェンプロパトリン)	3A	カミキリムシ 類	—	樹幹・樹枝の食入孔に ノズルを差し込み噴射	収穫前日まで	5回以内
果樹類	バイオリサ・カミキリ (ボヘリア プロンニアティ)	—(生)	カミキリムシ 類	1本/樹	地際に近い主幹の分枝 部分等に架ける	成虫発生初期	—
もも	ロビンフッド、 ベニカカミキリシエアソール (フェンプロパトリン)	3A	カミキリムシ 類	—	樹幹・樹枝の食入孔に ノズルを差し込み噴射	収穫前日まで	5回以内
	アクタラ顆粒水溶剤 (チアメトキサム)	4A	クビアカツヤ カミキリ	2000倍	散布	収穫前日まで	3回以内
	モスピラン顆粒水溶剤 (アセタミプリド)	4A	クビアカツヤ カミキリ	2000倍	散布	収穫前日まで	3回以内
	スプラサイド水和剤 (DMTP)	1B	クビアカツヤ カミキリ	1500倍	散布	収穫 21 日前 まで	2回以内
	スプラサイド M (DMTP)	1B	クビアカツヤ カミキリ	200倍	樹幹部及び主枝に散布	収穫 60 日前 まで	2回以内
	テッパン液剤 (シクラニプロール)	28	クビアカツヤ カミキリ	2000倍	散布	収穫前日まで	2回以内
	ハチハチフロアブル (トルフェンピラド)	21A	クビアカツヤ カミキリ	1000倍	散布	成虫発生期但 し、収穫前日 まで	2回以内
	ダントツ水溶剤 (クロチアニジン)	4A	クビアカツヤ カミキリ	2000倍	散布	収穫 7 日前ま で	3回以内
	ベニカ水溶剤 (クロチアニジン)	4A	クビアカツヤ カミキリ	2000倍	散布	収穫 7 日前ま で	3回以内
	オリオン水和剤 40 (アラニカルブ)	1A	クビアカツヤ カミキリ	1000倍	散布	成虫発生期但 し、収穫 14 日前まで	2回以内
バイオセーフ (スタイナーネマ カーボカブ サエ)	—(生)	クビアカツヤ カミキリ	2500万頭 (約10g) 2.5Lに希釈	木屑排出孔を中心に薬 液が滴るまで樹幹注入	幼虫発生期	—	

※果樹類（かんきつ、りんご、なし、びわ、もも、うめ、おうとう、ぶどう、かき、マンゴー、いちょう（種子）、くり、パカン、アーモンド、くるみ、食用つばき（種子）を除く）

◆農薬の最新情報は、農林水産省の農薬登録情報提供システムで確認してください。

(<https://pesticide.maff.go.jp/>)

表2 クビアカツヤカミキリに登録のある主な農薬
(うめ、すもも、おうとう、ネクタリン、小粒核果類)

(令和3年1月現在)

作物名	農薬名 (成分名)	IRAC コード	適用害虫	希釈倍数	使用方法	使用時期	使用 回数
うめ	ロビンフッド、 ベニカカミキリムシエアゾール (フェンプロパトリン)	3A	カミキリムシ 類	—	樹幹・樹枝の食入孔に ノズルを 差し込み噴射	収穫前日まで	5回以内
	アクタラ顆粒水溶剤 (チアメトキサム)	4A	クビアカツヤ カミキリ	2000倍	散布	収穫7日前ま で	2回以内
	モスピラン顆粒水溶剤 (アセタミプリド)	4A	クビアカツヤ カミキリ	2000倍	散布	収穫前日まで	3回以内
	スプラサイド水和剤 (DMTP)	1B	クビアカツヤ カミキリ	1500倍	散布	収穫14日前 まで	2回以内
	ダントツ水溶剤 (クロチアニジン)	4A	クビアカツヤ カミキリ	2000倍	散布	収穫前日まで	3回以内
	ベニカ水溶剤 (クロチアニジン)	4A	クビアカツヤ カミキリ	2000倍	散布	収穫前日まで	3回以内
	アクセルフロアブル (メタフルミゾン)	22B	クビアカツヤ カミキリ	1000倍	散布	収穫前日まで	3回以内
	オリオン水和剤 40 (アラニカルブ)	1A	クビアカツヤ カミキリ	1000倍	散布	成虫発生期但 し、収穫7日 前まで	3回以内
	バイオセーフ (スタイナーネマ カーポカプ サエ)	—(生)	クビアカツヤ カミキリ	2500万頭 (約10g) 2.5Lに希釈	木屑排出孔を中心に薬 液が滴るまで樹幹注入	幼虫発生期	—
すもも	モスピラン顆粒水溶剤 (アセタミプリド)	4A	クビアカツヤ カミキリ	2000倍	散布	収穫前日まで	3回以内
	スプラサイド水和剤 (DMTP)	1B	クビアカツヤ カミキリ	1500倍	散布	収穫14日前 まで	2回以内
	テッパン液剤 (シクラニリプロール)	28	クビアカツヤ カミキリ	2000倍	散布	収穫前日まで	2回以内
おうとう	アクタラ顆粒水溶剤 (チアメトキサム)	4A	クビアカツヤ カミキリ	2000倍	散布	収穫前日まで	2回以内
	モスピラン顆粒水溶剤 (アセタミプリド)	4A	クビアカツヤ カミキリ	2000倍	散布	収穫前日まで	1回以内
ネクタリン	アクタラ顆粒水溶剤 (チアメトキサム)	4A	クビアカツヤ カミキリ	2000倍	散布	収穫前日まで	3回以内
	ハチハチフロアブル (トルフェンピラド)	21A	クビアカツヤ カミキリ	1000倍	散布	成虫発生期但 し、収穫前日 まで	2回以内
	オリオン水和剤 40 (アラニカルブ)	1A	クビアカツヤ カミキリ	1000倍	散布	成虫発生期但 し、収穫21 日前まで	2回以内

小粒核果類 (うめ、すももを除く)	モスピラン顆粒水溶剤 (アセタミプリド)	4 A	クビアカツヤ カミキリ	2000倍	散布	収穫前日まで	3回以内
小粒核果 類(うめを 除く)	アクタラ顆粒水溶剤 (チアメトキサム)	4 A	クビアカツヤ カミキリ	2000倍	散布	収穫 7 日前 まで	2回以 内
	オリオン水和剤 40 (アラニカルブ)	1 A	クビアカツヤ カミキリ	1000倍	散布	成虫発生期但 し、収穫 7 日前まで	3回以 内

◆農薬の最新情報は、農林水産省の農薬登録情報提供システムで確認してください。

(<https://pesticide.maff.go.jp/>)

表3 クビアカツヤカミキリに登録のある主な農薬（さくら、伐倒木・枯損木のくん蒸処理）
（令和3年1月現在）

作物名	農薬名 (成分名)	IRA C コード	適用害虫	希釈倍数	使用方法	使用時期	使用 回数
さくら	ロビンフッド、 ベニカカミキリムシエアソール (フェンプロパトリン)	3A	クビアカツヤ カミキリ	—	樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み 噴射	—	6回 以内
	園芸用キンチョールE (ペルメトリン)	3A	クビアカツヤ カミキリ	—	【専用ノズルつけかえ方式】 容器のボタ ンを引き抜き、専用ノズルにつけかえ、 食入部にノズルを差し込み、薬剤が食入 部から流出するまで噴射する。 【2ウェイノズル方式】 折り畳まれた専 用ノズルを引き上げ、食入部にノズルを 差し込み、薬剤が食入部から流出するま で噴射する。	—	—
	アクセルフロアブル (メタフルミゾン)	22B	クビアカツヤ カミキリ	100倍	木屑排出孔を中心に薬液が滴るまで樹幹 注入	—	6回 以内
				1000倍	散布	成虫発生 直前～成 虫発生期	
				200倍	主幹から株元に散布	成虫発生 直前～成 虫発生期	
	マツグリーン液剤2 (アセタミプリド)	4A	クビアカツヤ カミキリ	50倍	食入孔に注入	発生初期	5回 以内
				200倍	散布	発生初期	
	ウッドスター (ジノテフラン)	4A	クビアカツヤ カミキリ	注入部直径 6cm～10cm：8～ 12mL、10cm～20cm：12～ 24mL、20cm～30cm：24～ 36mL、30cm～40cm：36～ 48mL、40cm～50cm：48～ 60mL、50cm～60cm：60～ 72mL、以降、直径が10cm増す毎 に12mLを追加する。	樹幹注入	新葉展開 後～落葉 前まで	3回 以内
	リバイブ (エマメクチン安息香酸塩)	6	クビアカツヤ カミキリ	胸高直径(樹幹部)6～10cm： 30mL、11～15cm：60mL、16 ～20cm：90mL、21～25cm： 120mL、26～30cm：150mL、 30cm以上は胸高直径が5cm増す ごとに30mLを増量する。	樹幹部に注入孔を あけ、注入器の先 端を押し込み樹幹 注入する。	発生前～ 発生期	1回 以内
アトラック液剤 (チアメトキサム)	4A	クビアカツヤ カミキリ	胸高直径(樹幹部)6～10cm： 30mL、11～15cm 60mL、16 ～20cm：90mL、21～25cm： 120mL、26～30cm：180mL、	樹幹注入	幼虫発生 前～幼虫 発生期	3回 以内	

				30cm 以上は胸高直径が 5cm 増すごとに 30~60mL を増量する			
	モスピラン顆粒水溶剤 (アセタミプリド)	4A	クビアカツヤ カミキリ	2000倍	散布	発生初期	5回 以内
	ダントツ水溶剤 (クロチアニジン)	4A	クビアカツヤ カミキリ	2000倍	散布	成虫発生 初期	5回 以内
	ベニカ水溶剤 (クロチアニジン)	4A	クビアカツヤ カミキリ	2000倍	散布	成虫発生 初期	5回 以内
	トルネードエース DF (インドキサカルブ)	22A	クビアカツヤ カミキリ	1000倍	散布	成虫発生 初期	4回 以内
	ダブルトリガー液剤 (シクラニプロール)	28	クビアカツヤ カミキリ	2000倍	散布	発生初期	2回 以内
	オリオン水和剤 40 (アラニカルブ)	1A	クビアカツヤ カミキリ	1000倍	散布	成虫発生 期	5回 以内
	バイオセーフ (スタイナーネマ カーボカブ サエ)	-(生)	クビアカツヤ カミキリ	2500万頭(約10g) 2.5Lに 希釈	木屑排出孔を中心 に薬液が滴るまで 樹幹注入	幼虫発生 期	-
	バイオリサ・カミキリ (ボーベリア ブロンニアテ ィ)	-(生)	クビアカツヤ カミキリ	1本/樹	主幹又は主幹の 分枝部分に巻き付 ける	成虫発生 初期	-
食用さくら(葉)	バイオリサ・カミキリ (ボーベリア ブロンニアテ ィ)	-(生)	クビアカツヤ カミキリ	1本/樹	主幹又は主幹の 分枝部分に巻き付 ける	成虫発生 初期	-
	バイオセーフ (スタイナーネマ カーボカブ サエ)	-(生)	クビアカツヤ カミキリ	2500万頭(約10g) 2.5Lに 希釈	木屑排出孔を中心 に薬液が滴るま で樹幹注入	幼虫発生 期	-

もも、う め、すも も、さくら (伐倒木), (枯損木)	キルパー40 (カーバムナトリウム塩)	8F	クビアカツヤ カミキリ	被覆内容積1 立方m当り 原液750~ 1500mL	加害された伐倒木を集積したものまたは 枯損木に、所定薬量を散布し、直ちにビ ニールシート等で密閉し所定期間くん蒸 する。	-	1回 以内
もも、さく ら (伐倒木)	NCS (カーバム)	8F	クビアカツヤ カミキリ幼虫	被覆内容積1 立方m当り 原液1.0L	加害された伐倒木を配置し本剤を散布 し、直ちにビニール等で密閉し、くん蒸 する。	-	1回 以内

◆農薬の最新情報は、農林水産省の農薬登録情報提供システムで確認してください。
(<https://pesticide.maff.go.jp/>)